

1. 東西エリア別の発展方向

情報通信技術の発達等に伴い、人々の暮らしや経済活動は広域化し、また連携や交流も進みつつあります。このため、東西に細長く、隠岐諸島を有する県土の特性や、県内の高速交通体系の整備状況等も勘案しながら、広い視点に立った産業振興・地域経済活性化の方向を共有する必要があります。

県内をはじめ、県境を越えて活動する様々な主体による相互理解や共同の取組みを推進するとともに、柔軟に施策を展開していく上での一つの地域区分として、2つのエリアを設定することとします。

2つのエリア図



東部エリアの発展の方向

(1) 特性

- ・東部エリアは、宍道湖、中海、神西湖、美しい海岸線、雄大な景観を有する隠岐・大山など豊かな自然や、出雲神話などの特有の歴史・文化を有する地域です。
- ・中海・宍道湖圏域は、島根県と鳥取県のほぼ中央に位置し、60万人余の人口を有し、日本海側でも新潟や金沢などと並んで有数の人口・産業が集積している地域です。
- ・出雲空港、隠岐空港、米子空港の3つの空港や国際貿易港である境港を有しています。また、米子自動車道により全国の高速道路ネットワークにつながっていると同時に、山陰自動車道や中国横断自動車道尾道松江線の整備が進みつつあるなど、交通機能の利便性が高い地域です。
- ・鳥取県との県境をつなぐ江島大橋が平成16年に開通しました。県道の大海崎バイパスや国道431号川津バイパスの整備も進み、産業や観光などの分野で県境を越えた連携が活発化しています。

(2) 発展の方向

<ものづくり・IT産業の振興>

- ・特殊鋼、一般機械器具、電子部品・デバイス、輸送用機械器具などの機械金属系製造業を中心とした産業が集積しています。これらの企業の経営・技術革新を支援することなどにより、さらなる集積と事業の高度化を目指します。
- ・IT産業については、県内企業の育成・支援や県外企業の誘致、人材の確保・育成を進めることにより、ソフト系IT企業の振興を図ります。
- ・高速道路・空港・港湾等の交通基盤、良好な住環境、豊富な企業用地などの地域の強みを最大限に活かした戦略的な企業誘致を進めます。
- ・隣県の企業情報を多く有する地元金融機関や他県の産業支援機関等との連携を深め、県内企業の販路や資材・部品の受発注先の拡大を図ります。
- ・急速な経済発展を遂げる北東アジア地域の大陸部に比較的近い地理的特性などを活かし、海外の新たな市場の開拓を促進します。

<自然が育む資源を活かした産業の振興>

- ・平野部における大規模農業、離島や山間地における特色ある米づくりや和牛の生産など、それぞれの地域特性に応じた農業振興を図るとともに、地域ブランドの確立を目指します。
- ・豊富な人工林資源を地域の木材加工施設等へ供給する取組みを進め、消費拡大を軸とした林業展開を目指します。
- ・隠岐近海をはじめとする日本海の豊富な水産資源を活かし、認証制度や鮮度保

持技術の活用などにより、水産物の高付加価値化に取り組みます。また、宍道湖・中海での環境保全型の漁業振興を図ります。

<観光の振興>

- ・豊富な観光資源を活かし、隠岐と本土、沿岸部と山間部など圏域相互間の広域観光や、石見銀山遺跡の世界遺産への登録を契機にした県西部エリアとの連携、さらには鳥取県や広島県を含めた広域的な周遊観光を推進します。
- ・民間経済界が中心となって「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」が設立され、観光ポータルサイトの開設による一体的な情報発信が行われています。さらに、水上遊覧船の実験運航、温泉地・医療施設・美術館巡りなど滞在型の余暇活動推進、体験型観光など産業観光ネットワーク化など、広域的な観光連携に向けた戦略的な取り組みが始まっており、今後さらなる連携を進めます。
- ・島根・鳥取両県の観光関係団体などで「山陰国際観光協議会」を設立し、外国人観光客誘致に取り組んでおり、主に韓国、台湾、中国、欧米を中心にさらなる誘客を目指します。
- ・広域的な観光連携を進める上で、県境を挟んだバス路線などの二次交通の不備がネックになっており、観光施設間のアクセスが向上するよう二次交通の確保に努めます。
- ・米子ーソウル便の利用者拡大と増便による利便性向上、また、出雲ー上海チャーター便の利用促進について、両県が共同して取り組みます。

<産業基盤の維持・整備>

- ・隠岐と本土を結ぶ航路と航空路線は観光振興や住民生活にとって重要であり、航路の維持・改善や空港の利用促進に取り組みます。
- ・広島経済圏と県東部エリアを結ぶ中国横断自動車道尾道松江線や山陰自動車道は、企業活動や観光振興にとって重要であり、早期整備に取り組みます。

西部エリアの発展の方向

(1) 特性

- ・西部エリアは、変化に富んだ美しい海岸線、江の川、高津川などの河川、三瓶山などの豊かな自然や、石見神楽など特有の文化を有する地域です。
- ・北東アジア地域の発展に伴って経済が拡大している広島、北九州、福岡などの大都市に近いという地理的に有利な条件を持っています。浜田自動車道、中国縦貫自動車道（六日市インターチェンジ）が整備され、これらの沿線は都市へのアクセスの利便性が高い地域です。
- ・国際貿易港である浜田港、東京・関西圏と結ぶ萩・石見空港を有しています。

(2) 発展の方向

<ものづくり産業・貿易の振興>

- ・瓦産業をはじめとする地場産業については、経営基盤の強化に取り組むとともに、市場のニーズに応える製品づくりを進め、新たな市場への進出を図ります。
- ・豊かな自然に恵まれた良好な住環境、豊富な企業用地などの地域の強みを最大限に活かした戦略的な企業誘致を進めるとともに、既存誘致企業へのフォローアップ強化と関連する産業の育成に取り組みます。
- ・隣県の企業情報を多く有する地元金融機関や他県の産業支援機関等との連携を深め、県内企業の販路や資材・部品の受発注先の拡大を図ります。
- ・北東アジアの大陸部の対岸に位置する浜田港は、対岸諸国に向けて正面玄関に相当する地理的優位性を持っています。貿易取引の増大による大きな発展の可能性を有していることから、さらなる利活用の促進に取り組みます。

<自然が育む資源を活かした産業の振興>

- ・有機・エコロジー農業による農産物や、どんちっち三魚・アユなどの水産物をはじめとする特色ある製品について、質の向上とマーケティングの強化を図り、地域ブランドの確立を目指します。
- ・豊富な人工林資源を地域の木材加工施設等へ供給する取組みを進めるとともに、浜田港を活用した販路の拡大を図ります。
- ・水産加工をはじめとする食品加工業の集積と地域の豊かな農林水産資源を活かし、地元の素材の利用促進、販路の拡大に取り組むとともに、健康食品や機能性食品などのより付加価値の高い分野への進出を図ります。

<観光の振興>

- ・石見銀山遺跡の世界遺産登録に伴って増加している来訪者を石見地域全体で受け入れる体勢づくりを進め、地域経済の活性化につなげるのが重要です。宿泊機能の充実や地域資源を活用したみやげ物や「食」を提供することなどによ

り、来訪者の満足度を高め、観光消費額を増やす取組みを進めます。また、石見銀山遺跡を総合的に案内するガイドの養成や起業・新商品の開発など、新たなビジネス展開を目指します。

- ・ストーリー性のあるテーマを情報発信するなど、県東部エリアとの連携を進めるとともに、山口県や広島県を含めた広域的な周遊観光を推進し、併せて二次交通などのネットワーク整備を進めます。
- ・地域の自然、風土、歴史、文化に触れ、地域の人たちとの交流を楽しむ新たな旅行スタイルに関心を持つ人が増えており、都市住民との農山漁村等での体験交流が盛んになっています。こうした都市との交流事業を地域経済の活性化に結びつける取組みを進めます。

<産業基盤の維持・整備>

- ・萩・石見空港は西部エリアの空の玄関として、観光や企業誘致など西部エリア全体の経済活性化に活かせるよう、路線の維持・充実に取り組めます。
- ・県西部エリアと山口・九州経済圏や県東部エリアとを結ぶ山陰自動車道は、企業活動や観光振興にとって重要であり、早期整備に取り組めます。

<その他>

- ・旭インターチェンジの隣接地に建設中の矯正施設「島根あさひ社会復帰促進センター」は、平成20年10月に収容が開始される予定です。この施設では、近隣農家への支援や森林管理作業による職業訓練が計画されているほか、構造改革特区制度を活用した業務の大幅な民間委託も実施されることになっています。本施設の開設により、国・PFI事業者の職員及び家族なども含めると約3,000人の人口増加が見込まれています。食材の供給など新たな需要を生み出すことが期待されているほか、地元雇用や刑務作業での地元活用など「地域との共生」を目指すことなどにより、ビジネスチャンスのさらなる拡大に取り組めます。